

Overview: エズラ記とネヘミヤ記は、私たちの召会生活の回復の旧約における予表と絵図であり、神の家と神の王国である召会の回復には、何が重要であるかを見せています。イスラエルの民は捕囚から帰還した後、依然として気ままでした。なぜなら、彼らはバビロンで生まれ、育ち、バビロンの構成を持っていたからです。エズラは、神に信頼し、神と一であり、神の言葉に精通しており、また神の心、神の願い、神のエコノミーを知っている人でした。彼は神の言葉をもって、民を再教育し、再構成し、彼らを神の証しとしました。ネヘミヤは優れたリーダーであり、反対者をあざけり、軽べつし、叱責することに関して、臆病ではなく、とても純粋であり、進取的でした。彼は天然の人の中で生きたのではなく、復活の中で生きました。彼は神の選民の間のリーダーの卓越した模範です。

I. イスラエルの子たちの残された者[レムナント]をバビロンからエルサレムに回復して、宮と都を再建することが表徴するのは、召会の残された者[レムナント]を今日の分裂と混乱から一の当初の立場に回復して、神の家また神の王国としての召会を建造することです：

- A. 神の民は、バビロンから回復されて、一の唯一の立場に戻る必要があります。
- B. 神の民は、回復されて、良き地によって予表されている、すべてを含む霊としての計り知れない豊富なキリストを享受することに戻る必要があります。』
- C. 召会の回復において、私たちはキリストのからだ、神の宮、神の家を建造しています。
- D. 召会の建造において、私たちは王国の生活をして、神の王国の実際の中で、命の中で王として支配しています。
- E. このことは神の当初の意図を成就します。それは、団体の人を得てご自身のかたちにおいて神を表現し、神の統治権をもって神を代行するということです。』

II. 主はエズラを起こして、ご自身の回復を強め、豊かにしました：

A. エズラは、祭司であり、学者でもあって、神の律法に精通した人でした。エズラはそのような人として、必要を満たす能力を持っていました：

1. 祭司は、主とミングリングされ、主で浸透されている人です。エズラはこのような人でした。
2. エズラは、神に信頼し、神と一であり、神の言葉に精通しており、また神の心、神の願い、神のエコノミーを知っている人でした。
3. エズラは、絶えず主と接触することによって主と一でした。こういうわけで、彼は文字の学者ではなく、祭司の学者でした。
4. エズラは、何も新しいことを語りませんでした。彼は、モーセがすでに語ったことを語りました。

B. 主の回復において、私たちは多くのエズラを必要とします。彼らは祭司の教える者であって、神と接触し、神で浸透されており、神と一であり、神で満たされており、神の言葉に精通しています。このような人が主の回復において教える者となる資格があります。』

C. エズラは、イスラエルの民を天的な真理をもって教育することによって、彼らを再構成しました。それによってイスラエルは、神の証しとなることができました：

1. イスラエルに対する神の意図は、地上において神性によって構成された民が神の証しとなることでした。神の民が神の証しとなるために、彼らは神の言葉で再構成されなければなりません。
2. 民は捕囚から帰還した後、依然として気ままでした。なぜなら、彼らはバビロンで生まれ、育ち、バビロンの構成を持っていたからです：
 - a. バビロンの要素は彼らの中へと造り込まれ、彼らの存在の中へと構成されていました。
 - b. 彼らは父祖の地に帰還し、イスラエルの国民となった後、再構成を必要としました。
3. 教えと再構成の必要があったのは、神の民を神にしたがっている文化、すなわち神を表現する文化の中へもたらすためでした。このような文化は多くの教育を必要とします。
 - a. エズラはこの時点においてとても有用でした。なぜなら、彼は天的で神聖な構成と文化の総合計を持っていたからであり、また彼を通して、民は神の言葉で再構成されることができたからです。
 - b. エズラは、人々が一般的な方法で神を知るだけでなく、神が語ったことにしたがって神を知るように助けることができました。
4. 神の民を再構成するために、神の口から出る、神を表現する言葉をもって、彼らを教育する必要がありました：
 - a. 神の民を再構成することは、彼らを教育することであり、それは彼らを神の言葉の中へと入れて、彼らを言葉で浸透させることによってです。 b. 神の言葉が私たちの内

III. ネヘミヤ記における極めて重要な点は、エルサレムの都とその城壁が都の内側の神の家の防衛と保護であったということでした：

- A. 神の家を再建することは、神が墮落した召会を回復することを予表します。エルサレムの都の城壁を再建することは、神が彼の王国を回復することを予表します。神が彼の家を建造することと彼の王国を建造することは、並行します：
- B. 神の都は、拡大され、増強され、建造された召会であり、神が彼の王国において王として支配する中心です。最終的に、神のエコノミーにおいて神の家(宮)は、聖なる都、新エルサレムとなります。それは神の永遠の住まい、また神の永遠の王国の支配する中心です。
- C. 私たちは、私たちの命としてのキリストを認識し、享受するとき、神の家としての召会を持ちます。もし私たちがさらに進んで、彼の頭首権を認識するなら、家は拡大されて都、すなわち神の王国となります。』
- D. ネヘミヤの進取性は、今日の主の回復における正しい進取性の必要を私たちに見せています：

1. モアブ人やアンモン人のリーダーたちは、ネヘミヤがイスラエルの子たちの益を求めたことについて非常に不愉快になりました。ロトの不純な増し加わりから生じたこれらの子孫は、イスラエルの子たちを憎み、軽べつしていました。
 2. ネヘミヤはこれらの反対者をあざけり、軽べつし、叱責することに関して、臆病ではなく、とても純粋であり、進取的でした。
 3. 神から助けを受けるのは、進取的な人たちです。使徒パウロはネヘミヤのように、神と結び付いており、この結び付きの中で神の助けを認識しました。
 4. ネヘミヤの進取性は人の振り舞いにおける美德です。それが示しているのは、私たちの天然の性能、能力、美德がキリストの十字架を経過し、復活の中へもたらされて、すなわち三一の神の究極的完成としてのその霊の中へもたらされて、神のエコノミーの完成において神にとって有用にならなければならないということでした。
 5. ネヘミヤは天然の人の中で生きたのではなく、復活の中で生きました。彼は神の民の間でリーダーがどのようであるべきかの模範でした。彼は進取的でしたが、彼の進取性は他の特徴を伴っていました：
 - a. ネヘミヤは神との関係において、神を愛し、また地上での神の權益を愛する人でした。その權益は、聖なる地(キリストを表徴する)、聖なる宮(召会を表徴する)、聖なる都(神の王国を表徴する)を含んでいます。
 - b. ネヘミヤは神を愛する人として、交わりの中で神に祈り、神と接触しました。ネヘミヤは城壁の再建のために、神の言葉の上に立ち、神の言葉にしたがって祈りました。
 - c. ネヘミヤは神に信頼し、さらには神と一になりました。結果として、彼は神の代理となりました。
 - d. ネヘミヤは民との関係において、完全に自己がなく、自己の追求や自己の權益がありませんでした。彼は常に進んで民のために、また国のために、自分が持っていたものを犠牲にしました。
- E. 聖なる都の大きくて高い城壁は、私たちが神へと分離され、神の權益を保護し、神を表現するためです：
1. 都の城壁の機能は、都を神以外のすべてのものから神へと分離し、聖別し、こうして都を聖な

側で働くとき、神の霊、すなわち神ご自身は、言葉を通して自然に神の性質と神の要素を私たちの存在の中へと分与します。このようにして、私たちは再構成されます。』

5. エズラの務めを通して、イスラエルは(予表において)再構成され、その結果、特別な国となりました。すなわち、神へと聖別され、分離され、神を表現する国となりました:

a. 彼らは神の思想、神の考え、神であるすべてを注入されました。このことは彼らを神の複製としました。

b. このような神聖な構成によって、あらゆる人は命において、また性質において神となりました。結果として、彼らは神聖な国となり、神聖な特性を表現しました。

c. 帰還した捕虜は、個人的にも団体的にも再構成されて、神の証しとなりました。

D. 今日の主の回復において、私たちが必要とするのは、多くのエズラが純粋にする働きを行ない、神聖な真理をもって神の民を教育することによって彼らを構成し、彼らを地上における神の証し、神の団体的な表現とならせることです。

第一日:申命記12:5 エホバ・あなたがたの神が、…選ん[だ]…場所、すなわち彼の住まい…へ行かなければならない。11 エホバ・あなたがたの神が御名を住まわせるために選ばれた場所へ、…持って行かなければならない。それは、あなたがたの全焼のささげ物と犠牲、あなたがたの十分の一と手の挙げるささげ物、あなたがたがエホバに誓願する、すべてのえりすぐりの誓願である。12 あなたがたは、…エホバ・あなたがたの神の御前で喜び楽しまなければならない。

第二日:エズラ1:2 ペルシャの王クロスはこう言う、「エホバ・天の神は、地のすべての王国を私に賜った。彼は私に、ユダにあるエルサレムで彼に家を建てるよう命じられた。3 あなたがたのうち、すべて彼の民はだれでも、彼の神が彼と共におられるように、その者はユダにあるエルサレムに上って行き、エホバ・イスラエルの神の家を建てるようにせよ。彼はエルサレムにおられる神である」。

ローマ14:17 なぜなら、神の王国は食べ飲みすることではなく、義と平和と聖霊の中の喜びとであるからです。

第三日:エズラ7:6 このエズラはバビロンから上って来た。彼はエホバ・イスラエルの神が与えられたモーセの律法に精通した学者であった。エホバ・彼の神の御手が彼の上にあったので、王は彼のすべての願いをかなえた。7 イスラエルの子たちのある者たち、祭司、またレビ人と歌う者と門衛と宮のしもべのある者たちも、…エルサレムに上って来た。

第四日:ネヘミヤ8:1 すべての民は一人のように、…共に集まった。…2 祭司エズラは…会衆…の前に律法を持って来た。3 …彼は…それを朗読した。すべての民の耳は律法の書に傾けられた。7 …そしてレビ人は、民が律法を理解するのを助けた。…8 彼らは神の律法の書を読み、解釈してそのより深い意義を解き明かしたので、民はその読んだことを理解した。

コロサイ3:16 知恵を尽くして、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ、詩と詩歌と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。

第五日:ネヘミヤ13:30 こうして、私は彼らをすべての外国のものから清めた。そして祭司たちとレビ人に職務を定めて、それぞれの仕事に就かせた。

詩46:4 一つの川がある。その流れは神の都を、いと高き方の幕屋である聖なる場所を喜ばせる。5 神が都の真ん中におられるので、都は揺らぐことはない。…

啓5:10 彼らを私たちの神のために王国とし、祭司とされたからです。そして彼らは地上で王として支配します。

第六日:ネヘミヤ2:20 …天の神ご自身が、私たちを繁栄させてくださるのだ。それゆえ、彼のしもべである私たちは、起き上がって建てるのである。使徒26:22 こういうわけで、私は、神から助けを得て、今日に至るまで立ち、小さな者にも大きな者にも証しをしてきました。そして、預言者たちとモーセが、起こるはずであると言ったこと以外には、何も言いませんでした。

る都とすることです。

a. 聖なる都である新エルサレムの城壁は、碧玉で築かれており、都の城壁の土台は、あらゆる宝石で飾られています:

1 私たちはキリストにある尊い石として、神聖な命において成長することによって、造り変えられて宝石となります。

2 宝石は造り変えを示します。私たちは造り変えられれば造り変えられるほど、ますます分離されます。

b. その霊の造り変える働きが神聖な命の中で進行しているとき、私たち造り変えられた宝石は、共に建造されて、一つの完全な城壁とその土台になります。

2. 都の城壁の機能は、神の神性の豊富の地上における権益と、キリストの終極の成就を保護するためです。私たちはこのような保護のために、御言から純粋な真理を解き放たなければなりません。

3. 都の城壁の機能は、神を表現することです。神の外観は碧玉のようであり、碧玉の城壁が表徴するのは、都全体が永遠における神の団体的な表現として、神の外観を帯びているということです。

《預言ノート》

経験①: 神の王国の文化で構成されるために、回復訳聖書とライフ・スタディを読む

祭司は、一日中、主とミングリングされ、主で浸透され、主を常食とし、主を呼吸している人です。彼が語ることは何であれ、まさに主ご自身です。主の回復の中で、教える者たちはまさにこのようであればなりません。エズラはこのような人でした。彼は断食を布告し、そして断食しました。彼は、絶えず主と接触することによって主と一でした。彼は文字の学者ではなく、祭司の学者でした。

彼は主に信頼しました。このような人が主の回復において教える者となる資格があります。…単なる知識は建造しません。それは殺します。建造するのは祭司の教える者です。このような人が、数の増加をもって回復を強め、キリストの豊富な経験をもってそれを豊かにすることができます。主を賛美します。そのようなエズラたちがいます。私は、主がさらに多くのエズラたち、すなわち神と一であり、神で浸透され、神で満たされ、神の働きに精通している者をもたらそうとしておられると、完全に確信しています。これらの人が、捕囚から戻って来る多くの人をもたらし、さらに多くのキリストの豊富を主の回復の中へもたらすのにふさわしい人です。

神の民を再構成するために、神の口から出る、神を表現する言葉をもって、彼らを教育する必要があります。これが意味するのは、神の民を再構成することが、彼らを教育することであり、それは彼らを神の御言の中へと入れて、彼らを御言で浸透させることによってであるということです。

イスラエル人は少なくとも四百年、エジプトにいました。この間、彼らはエジプト人の学習によって構成されていたに違いありません。次に、彼らは七十年間バビロンに連れて行かれました。ゼルバベル、エズラ、ネヘミヤはみな、バビロン人の間で生まれ、育てられました。イスラエルの民はバビロンから帰還した後、カナン人と混合しました。こうして、イスラエル人はエジプト人、バビロン人、カナン人の文化で構成されました。それにもかかわらず、彼らは帰還して神の証しとなったのです。しかしエジプト人、バビロン人、カナン人の文化で構成された人々が、どのようにして神の証し、神・人の表現となることができたのでしょうか？ そのような人々は神・人ではありませんでした。彼らはどのようにして神を表現することができたのでしょうか？ 神の証し、神の表現となるために、彼らは神の御言の中で再教育される必要がありました。

中高生編

あなたは日本で生まれ、日本の文化の中で教育され、成長してきましたので、内側が日本の文化で構成されています。中国人であれば中国の文化で、韓国人であれば韓国の文化で、アフリカ人であればアフリカの文化で構成されています。しかしあなたは主を信じて、バプテスマされ、神の王国に引越しました。今、あなたは神の王国の、神を表現する文化で再構成される必要があります。それはあなたが神の祝福にあずかるためであり、将来あなたが資格づけられた良い奉仕者になるためです。

神の王国の文化で再構成されるために、次の3つのことを実行してください。

- i) 聖書の回復訳 with フットノートを読む: 聖書の翻訳は、原語への十分な把握だけではなく、神聖な御言葉における神聖な啓示の正しい理解にも基づいています。歴代、聖徒たちが持った神聖な啓示の理解は、彼らの受けた光に基づいており、この理解は着実に前進してきました。この翻訳とフットノートは、この理解の集大成に基づいています。ですから、この訳と付随するフットノートは、あらゆる場所の聖徒たちが過去二千年に到達した神聖な啓示の「結晶」と呼んでもよいでしょう(英語の回復訳の序文)。
- ii) 聖書のライフ・スタディを読む: 回復訳聖書のフットノートとライフ・スタディは、聖書を置き換えるものではなく、聖書の金の鉱脈を見出すための最も良い助けです。あなたが自分だけで聖書を読んでも、鉱脈を見出すことは極めて困難です。若い時から回復訳聖書 with フットノートとライフ・スタディの助けによって、神の王国の文化で再構成されることができるようになります。
- iii) 「朝毎の食物」を祈り読みし、研究し、暗唱し、預言し語り出す(祈研暗語、PSRP)。

経験②: 神は臆病な人を助けることができない。神が助けるのは進取的な人である

モアブ人やアンモン人のリーダーたちは、ネヘミヤがイスラエルの子たちの益を求めたことについて非常に不愉快になりました(ネヘミヤ 2:10)。モアブ人とアンモン人は、口から生まれた子の子孫であり、イスラエルの子たちを憎み、軽べつしていました。

20 節のネヘミヤの答えは、ネヘミヤがとても進取的であったことを示しています。彼は確かに臆病ではありませんでした。臆病な者はだれも、神のしもべになることはできません。…ネヘミヤは神に信頼し、彼らの辱めを彼ら自身に返してくださるようにと祈りました。こうして、ユダヤ人は城壁を建てました。城壁はみな連なって、その高さの半分に達しました。それは彼らに働く心があったからです(ネヘミヤ 4:4-6)。今日、私たちはあざけられ、さげすまれても、建造する心を持ち、進取的になるべきです。…とても実質的な意味で、神は自分自身を助ける者を助けられるのです。もしあなたが自分自身を助けられないなら、神はあなたを助けられないでしょう。歴史によれば、神は臆病な者を助けません。神から助けを受けてきたのは、進取的な人たちです。

ネヘミヤは、天然の人の中で生きたのではなく、復活の中で生きた人でした。彼は進取的でしたが、彼の進取性は他の特徴を伴っていました。ネヘミヤは神との関係において、神を愛し、また地上での神の權益を愛する人でした。その權益は、聖なる地(キリストを表徴する)、聖なる宮(召会を表徴する)、聖なる都(神の王国を表徴する)を含んでいます。ネヘミヤは神を愛する人として、交わりの中で神に祈り、神と接触しました(ネヘミヤ 1:4、2:4 後半、4:4-5、9)。さらに、ネヘミヤは神に信頼し、さらには神と一になりました。結果として、彼は神の代理となりました。ネヘミヤは民との関係において、完全に自己がありませんでした。彼には自己の追求や自己の權益がありませんでした。彼は常に進んで民のために、また国のために、自分が持っていたものを犠牲にしました。

在職青年編

今日、あなたはあざけられ、さげすまれても、建造する心を持ち、進取的になるべきです。とても実質的な意味で、神は自分自身を助ける者を助けられるのです。もしあなたが自分自身を助けられないなら、神はあなたを助けられないでしょう。歴史によれば、神は臆病な者を助けません。神から助けを受けてきたのは、進取的な人たちです。

ネヘミヤ 2:18 そして、私の神の御手が、私の上ですばらしかったことについて、また王が、私に語った言葉について、私は彼らに告げた。そこで彼らは、「起き上がって建てよう」と言った。彼らはこの良い仕事のために彼らの手を強めた。19 ところが、ホロニ人サンバラテと、しもべであるアンモン人トビアと、アラビヤ人ガシムはこれを聞いて、私たちにあざけり、私たちに侮って言った、「あなたがたが行なうこの事は何だ？ あなたがたは王に反逆しようとするのか？」。20 私は彼らに答えて言った、「天の神ご自身が、私たちを繁栄させてくださるのだ。それゆえ、彼のしもべである私たちは、起き上がって建てるのである。しかし、あなたがたにはエルサレムで何の分け前も、権利も、記念もない」。

18 節でネヘミヤはイスラエルの民を助けて、良い仕事のための彼らの手を強めました。ところが 19 節でサンバラテたちは彼らを侮って語り、彼らを恐れさせようとしていました。その時ネヘミヤは 20 節で進取的に主のために立ちあがり、力強く彼らに反論し、逆に彼らを侮りました。ここであなたはネヘミヤの進取性を学ぶ必要があります。キリストに反対する日本の文化の中で、在職青年であるあなたは、会社の上司から信仰に対する攻撃を受けるかもしれません。このような反対は実はサタンから来ています。このような時、あなたは決して臆病になつてはいけません。そうではなく、信仰によって神の言葉を取って、敵に対して、「私はキリストのからだの肢体であり、ここでキリストのからだを建造している。サタンよ、お前とお前の軍勢はキリストと召会に勝つことはできない。お前がこのことを一番よく知っているはずだ！ 私は召会生活の中で、主と共に前進する。お前はお前の住処(すみか)、十字架に帰れ！そしてお前の永遠の住処は火の池である」と宣言してください。

ダニエル 11:32 …しかし、自分の神を知る者たちは、力を示して事を行ないます。

詩歌(補充本)、601番

- 1 おもい出そう、ダビデのちかったこと、
「わが家入らず、目にねむりあたえず、
主のためところを見いだすまでは」。
全能者の住まいを絶えずもとむ。
- 2 主のいえ、いまこう廃しているのに、
何たる盲もく、主よ、われたおしませ。
やま行き、木を切り、いえを建てよ。
いつかと言わずに、いま建造せよ。
- 3 主よ、われらをなが建ぞうのために、
ダビデの日のようけいはつしませ。
主のいえ建造する、何とさいわい。
ながねがいわがねがい、建造をもとむ。
- 4 建造のために、そなえするようと、
なれの召しにいま、われはこたえる。
建造された召かい、陰府のもんも
打ち勝つことなし、主よ、建造せよ。

補充本、#603

建造当趁今日

1. 记得大卫起誓：“我不进我的帐幕，
不上我的床榻，不容我打盹闭目，
直等到我为耶和华，寻得安息之处。”
全能的神巴望有家使属祂者可住。
2. 我们何等眼瞎，只顾自己的事务，
任凭神殿荒凉—哦主，你必须有路！
我们情愿上山取木，为建你殿劳碌；
绝不再说：“且等明日，”建造当趁今日！
3. 哦主，此时此境，激动人起来建造，
正如大卫之日，自动答应你呼召。
同心合意，配搭一起，受此托付，多好！
我们所喜，是你心意，主，我们来建造。
4. 主，为着你召会，叫我们废寝忘食，
为建造献一切—专心预备你居所！
阴间的门不能胜过已建成的召会。
时候不多，建造我们，让你能早回归！
(重复最后两行)

Hymn1248

1. Recall how David swore,
"I'll not come into my house,
Nor go up to my bed,
Give slumber to mine eyelids,
Until I find a place for Thee,
A place, O Lord, for Thee."
Our mighty God desires a home
Where all His own may come.
2. How blinded we have been,
Shut in with what concerns us;
While God's house lieth waste —
Lord, break through, overturn us;
We'll go up to the mountain,
Bring wood and build the house;
We'll never say, "Another day!"
It's time! We'll come and build!
3. O Lord, against these days,
Inspire some for Your building,
Just as in David's day —
A remnant who are willing
To come and work in Your house,
Oh, what a blessed charge!
Your heart's desire, is our desire —
We come, O Lord, to build.
4. Within those whom You'd call
Put such a restless caring
For building to give all —
These times are for preparing;
The gates of hell cannot prevail
Against the builded Church!
The hours are few, the builders too —
Lord, build, O build in us!
(Repeat the last four lines)